

1. ゲッセマネの園 【最後の晩餐の後】

マタイ 26:31 そのとき、イエスは弟子たちに言われた。「**あなたがたはみな、今夜、わたしのゆえにつまずきます。**『わたしが羊飼いを打つ。すると、羊の群れは散り散りになる。』と書いてあるからです。しかしわたしは、よみがえってから、あなたがたより先に、ガリラヤへ行きます。」

33 すると、ペテロがイエスに答えて言った。「たとい全部の者があなたのゆえにつまずいても、私は決してつまずきません。」

34 イエスは彼に言われた。「まことに、あなたに告げます。今夜、鶏が鳴く前に、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」

- イエス様は十字架にかかり、よみがえり、ガリラヤへ行くと言われた
- 弟子たちは全員、「イエス様を否定しない」と宣言した。

2. よみがえられたイエス様 天使の伝言「ガリラヤでイエス様に会えます」

マタイ 28:1 さて、安息日が終わって、週の初めの日の明け方、マグダラのマリヤと、ほかのマリヤが墓を見に来た。:5 すると、御使いは女たちに言った。「恐れてはいけません。あなたがたが十字架につけられたイエスを捜しているのを、私は知っています。6 ここにはおられません。前から言っておられたように、よみがえられたからです。来て、納めてあった場所を見てごらんください。7 ですから急いで行って、お弟子たちにこのことを知らせなさい。イエスが死人の中からよみがえられたこと、そして、あなたがたより先にガリラヤに行かれ、あなたがたは、そこで、お会いできるということです。では、これだけはお伝えしました。」

3. ガリラヤ湖に現れたイエス様

ヨハネ 21:1 この後、イエスはテベリヤの湖畔で、もう一度ご自分を弟子たちに現わされた。その現わされた次第はこうであった。2 **シモン・ペテロ**、デドモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナの子シモン、**ゼベダイの子**たち、ほかにふたりの弟子がいっしょにいた。:3 シモン・ペテロが彼らに言った。「私は漁に行く。」彼らは言った。「私たちもいっしょに行きましょう。」彼らは出かけて、小舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。4 夜が明けそめたとき、イエスは岸べに立たれた。けれども弟子たちには、それがイエスであることがわからなかった。:5 イエスは彼らに言われた。「子どもたちよ。食べる物がありませんね。」彼らは答えた。「はい。ありません。」6 イエスは彼らに言われた。「舟の右側に網をおろしなさい。そうすれば、とれます。」そこで、彼らは網をおろした。すると、おびたしい魚のために、網を引き上げることができなかった。7 そこで、イエスの愛されたあの弟子がペテロに言った。「主です。」すると、シモン・ペテロは、主であると聞いて、裸だったので、上着をまとい、湖に飛び込んだ。

➔ イエス様の愛を示される

- ✓ イエス様は十字架にかかる前から、このガリラヤでの再会を御計画されていました。
- ✓ 弟子たちは、全員イエス様を裏切って逃げてしまいました。
- ✓ よみがえりの後、イエス様は再び弟子に現れ、超自然的に食べ物を備えられました。
- ✓ イエス様の方から、裏切った弟子たちに歩み寄り、関係を回復されました。
- ✓ ガリラヤ湖での出来事は、弟子たちにイエス様の奇跡を思い起こさせました。
- ✓ 漁師であった弟子たちには、最初の召しを思い起こさせました。

4. イエス様の命令 「イエス様を愛して」「私の羊を飼い、牧しなさい」「わたしに従いなさい」

ヨハネ 21:15 彼らが食事を済ませたとき、イエスはシモン・ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン、**あなたは、この人たち以上に、わたしを愛しますか。**」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。**私**があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの小羊を飼いなさい。」16 イエスは再び彼に言われた。「ヨハネの子シモン、**あなたはわたしを愛しますか。**」ペテロはイエスに言った。「はい。主よ。**私**があなたを愛することは、あなたがご存じです。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を牧しなさい。」17 イエスは三度ペテロに言われた。「ヨハネの子シモン、**あなたはわたしを愛しますか。**」ペテロは、イエスが三度「あなたはわたしを愛しますか。」と言われたので、心を痛めてイエスに言った。「主よ。あなたはいつさいのことをご存じです。あなたは、**私**があなたを愛することを知っておりになります。」イエスは彼に言われた。「わたしの羊を飼いなさい。」

→ イエス様の最大の関心事

- 1 「わたしをこの人たち以上に愛しますか？【アガペの神の愛；犠牲的な愛】」
2. 私の羊を牧しなさい、飼いなさい。【人々のお世話：御言葉により養い、導くこと】

イエス様は、弟子たちに大宣教命令をされました。「出て行って全ての人に福音を伝えなさい」福音を伝え、【伝道】人々を弟子として成長させていく【羊を飼い、牧する】ためには、根底的にあるのは、宗教的な態度ではありません。神様の愛です。私達がイエス様を自分よりも愛する事により、この使命を全うすることができるのです。イースターの今日、よみがえられたイエス様は私達に質問されています「自分と他人を愛する以上に私を愛しますか？」

3. 「私に従いなさい」

18 まことに、まことに、あなたに告げます。あなたは若かった時には、自分で帯を締めて、自分の歩きたい所を歩きました。しかし年をとると、あなたは自分の手を伸ばし、ほかの人があなたに帯をさせて、あなたの行きたくない所に連れて行きます。」19 これは、ペテロがどのような死に方をして、神の栄光を現わすかを示して、言われたことであった。こうお話しになってから、ペテロに言われた。「わたしに従いなさい。」

21:20 ペテロは振り向いて、イエスが愛された弟子があとについて来るのを見た。この弟子はこの晩餐のとき、イエスの右側にいて、「主よ。あなたを裏切る者はだれですか。」と言った者である。21 ペテロは彼を見て、イエスに言った。「**主よ。この人はどうですか。**」22 イエスはペテロに言われた。「わたしの来るまで彼が生きながらえるのをわたしが望むとしても、それがあなたに何のかわりがありますか。あなたは、わたしに従いなさい。」

貴方には、貴方に割り当てられた神様の働きがあります。

- 1) イエス様を何よりも一番に愛して、【自分よりも、家族よりも、仕事よりも、お金よりも、】
- 2) 福音を伝え、人々をフォローアップすること、礼拝の為に仕える事。
- 3) 他の人に目を向ける事なく、ただひたすらイエス様に目を向けましょう。イエス様の御言葉に従って参りましょう

- 1 イエス様は弟子たちに「大宣教命令」を与えられました。一人一人召命が与えられています。ペテロとヨハネの宣教が違ったように。貴方にも特別な主の働きがあります。
2. イエス様の働きをするために大切な2つの事
 - 1) アガペの愛でイエス様を愛する事。「自己犠牲、無条件、神の愛、十字架の愛
自分を愛する以上に、イエス様を愛しますか？」
 - 2) イエス様に従う事。他の人【家族や友人や他のクリスチャンと一緒にではありません】主に焦点を置く事
「他の人のことは関係ない、貴方は私に従いなさい」
3. どのようにしたら、自分以上にイエス様を愛することができるでしょうか。
イエス様の犠牲に比べて、ペテロは頭の中ではイエス様を愛していると思っていたけれども、実際に十字架の前では、イエス様を見捨てて逃げてしまいました。イエス様を否定さえしました。
 - 人間はみな、自分が中心です。恐れにより自分を弁護する為に逃げ出して、否定してしまうのです。
 - ペテロはよみがえりの後に、ガリラヤ湖でイエス様の愛を再確認しました。イエス様はご自分で近寄って下さり、豪語したペテロを責める事なく、朝食を備え、霊を回復させ、関係を回復されました。
 - ペテロはイエス様に従い続けました。最後は、逆さ十字架で死んだと言われています。自分以上にイエス様を愛したのです。ヨハネも迫害にあっても最後まで主の働きをしました。
 - イエス様との愛の関係を回復しましょう。自分自身、神様から離れている人々の為にも祈りましょう
 - 私達の人生の中で、ペテロのように悪魔の攻撃に会う事もあるでしょう。しかし回復したら弟子を励ましなさいと言われたように、どんなことがあってもイエス様を見上げましょう。自分中心の考えで、人の反応や応答に不機嫌になる事なく、イエス様中心で人々を愛しましょう。すべてのミニストリーはイエス様を愛するゆえに行うべきであることを忘れないようにしましょう。